

合気道は私が想像していたよりもたくさんの方があり、右手で相手の手首を掴むなどの一つ一つの決まりや流れがあるので、覚えるのが大変でした。それでも難しかった分、やりがいのあるものでした。

私は誰にでもできる「護身術」を披露することになりました。本番1日目は多くの観客の人がいるのでとても緊張してきちゃんでできるか心配でした。2日目も同様に演武がありました。でも、1日目と違って顔に日本の国旗やドイツの国旗などをペイントして演武をしました。その後は、他の国の人たちの発表をたくさん観ることができました。アクロバティックなものも多く、中には面白いダンスを踊っているチームもありました。この2日間は充実したものでした。

今回のビュアシユタツト市への訪問はとても楽しく、思い出に残る出来事になりました。



佐宗 知枝

私は、ビュアシユタツト市に行くのがとても楽しみで、1年間、できるかぎりの練習をしてきました。体操祭では、色々な国の人達

が来ていてビックリしました。他の国の演技も、たくさん練習してきたことがわかりました。他の国の人と一緒に写真を撮ったりして、とても良い交流ができて良かったです。

食事や生活面など、色々な事を、面倒がらずに見てくださったホストファミリーと楽しい時間が過ごせました。私は7日間ドイツの歴史や生活がよくわかりました。とても良い経験になりました。

加藤 彩花

私たちは、合気道を披露するために、ドイツのビュアシユタツト市にホームステイをしました。

合気道を披露する場所には、いろいろな国の人が出て、話しかけられたり、「写真をとってくれ」と言われたりしました。日本語で話しかけられなくても、英語とか、ジュスチャーで何となくわかりました。さすが、英語は世界共通の言葉だと思いました。他の国が披露している時、バク転とかバク宙とかすごい技を披露して、私もすごく盛り上がっていたので、私たちもこんなに盛り上がってくれるのかなって不安でした。でも、日本の合気道をきくと見せられたので良かったと思っています。

山口 莉加

私はドイツに行くことを1年前からとても楽しみにしていました。部活などやりながら、合気道の練習も頑張りました。体操祭では、頑張った成果を出せて、無事に発表することができました。体操祭には、世界

各地からたくさんの方が来ていました。他の国の人と自分たちが持つ旗を交換して仲良くなり、交流を深め合うことができました。異国の地で不安だらけでしたが、日本語とジュスチャーだけでも会話できました。お互いが歩み寄ろうとしていたので、言葉の壁を乗り越えられて、心が通じ合えたのだと思います。

小池 愛里

私はドイツに行つてたくさんこのことを体験することができました。

体操祭では、日本の代表として合気道の演武を行いました。緊張したけど、練習の成果を出すことができました。日本の武術を伝えることができたと思います。

また、他国の人達と写真を撮ったり、会話をしたりたくさん交流を深めることができました。ドイツの町並みは屋根が赤で統一されていたり、建物がとてもきれいでした。ホームステイ先では、とても温かく接してくれたので不安だった気持ちもなくなりました。ホストファミリーには心から感謝をしています。

岡田 桃香

体操祭では、いろいろな国の人たちがいろいろな演技をしていました。

私たちの順番になり、少し緊張しながら一生懸命やりました。私たちは二人一組ずつ演武を行いました。会場内から一組ずつ大きな拍手がありました。最後の組の演武が終えて、「プラ

ボー」という声が聞こえてきました。とても嬉しかったです。観光では、ライン川での船下りはとても気持ち良かったです。川の景色がとてもきれいでした。また、ドイツの町並みもとてもきれいでした。

体操祭も終わり、「あと数日で帰国しなければならぬ」と思い、とてもさびしくなりました。「またドイツに行きたい」と思っています。

今回の経験を大切にして、これからいろいろな事にチャレンジしていきたいと思っています。

清水真里模

私は、ビュアシユタツト市体操祭で合気道を披露するため、はじめてドイツに行きました。

ドイツでは、ホームステイで過ごしました。はじめは、すごく緊張していたけど、ホストファミリーの方はすごく優しく親切だったので、ホッとしました。家は広くて、部屋にトイレとキッチンがついていました。一番楽しかったことは、ホストファミリーと湖に行ったことです。湖の水は冷たかったけど、一番の思い出になりました。

ドイツの言葉で覚えたのは、「グーテン・モルゲン」(おはよう)と「ダンケ・シェーン」(ありがとう)、「グーテン・アーベント」(こんばんわ)です。すごく楽しかったので、またドイツに行きたいです。

黒澤奈々江

本番のビュアシユタツト市体操祭では、チームのメンバー全員が実力を出し切り、合気道の演武を行うことができました。2回目の演武では、顔の頬に、日本の国旗をペイントして行ったのですが、全員がさらに団結して、演武の出来は本当に満足するものでした。

巨気道の道着を着て、体育館や

街の中を歩いていると、「写真を撮るのを楽しみましょう」と何回も声をかけられました。また、「日本チームの合気道はよかったですよ」という言葉もたくさん頂きました。

体操祭で巨気道を発表できたことは、「日本の合気道という武道を他の国の人たちに紹介できた」という点でも意義があったと思います。

合気道の演武が終了後、ポルトガルの小さな女の子が、手に握っていたキーホルダーみたいな物を見せながら、私たちのテーブルにやってきました。私は演武で使った傘を取り出して交換しました。その女の子はとても喜んでくれたので、私も嬉しくなりました。

今回は、全日程ホームステイだったので、ホストファミリーと過ごす時間がたくさんありました。普通の旅行では味わえなかった、貴重な体験ができました。また、ビュアシユタツト市側の心のこもった対応にも感謝しています。今後も、ビュアシユタツト市体操祭への参加を通じて、ビュアシユタツト市と皆野町との国際交流が続いていくことを願っています。

